

15-3 ここはどうですか



活動

ある場所^{ばしょ}で、したい^{おも}と思っ
ていることができるかどうか
について質問^{しつもん}する / 答^{こた}える。

かたち



時間

せつめい編

(文-52 V(られ)ます(可能)^{かのう})

文-57 たら

文-58 ても

談話の技術

準備する物

小さいカード^{ちい} 10 × グループの数^{かず}

使うことば

ここ、どう、公園^{こうえん}、犬^{いぬ}、散歩^{さんぽ}〔する〕、昼寝^{ひるね}*、デパート、おしゃれ^{ようぶく}*、洋服、
買う^か、スーパー*、食べ物^{たもの}、安い^{やす}、町^{まち}、郵便局^{ゆうびんきょく}、手紙^{てがみ}、出す^だ、切手^{きって}、図書館^{としょかん}、静か^{しず}、本^{ほん}、
読む^よ、借りる^か、山^{やま}、ハイキング*、スキー*、レストラン、おいしい^{にほんりょうり}、日本料理*、食べる^た、
行く^い、えっ*

手 順

1. クラス全体^{ぜんたい}で、<モデルテキスト>(1)のように自分たちの町にある公園や店や観光地^{かんこうち}を10以上あげ、それぞれその場所^{ばしょ}で「できること」を考える。教師はそれを黒板^{こくばん}に書いていく。
2. 学習者^{がくしゅうしゃ}は3、4人のグループに分かれる。
3. 教師は各グループにカードを10枚ずつ配^{くば}る。
4. 各グループで、学習者^{がくしゅうしゃ}は黒板^{こくばん}に書いてある場所の中から、場所を10選^{えら}び、カードに1つずつ書く。
5. カードを裏返^{うらがえ}して机の上に重ねて置く。
6. 一人^{ひとり}が黒板^{こくばん}の中から「できること」を1つ選^{えら}ぶ。カードを取^とって、となりの人^{ひと}にカードを見せながら、その「できること」を使^{つか}って、<モデルテキスト>(2)のよう
にとなりの人^{ひと}と会話練習^{かいわ れんしゅう}をする。
7. 会話^{かいわ}が終^{おわ}ったら、カードをもどし、ほかのカードとまぜる。
8. 順番^{じゅんばん}に6と7を繰^くり返^{かえ}す。

モデルテキスト

(1) 場所とできること

場所の名前	できること
あさひこうえん	犬とさん歩できます。昼ねができます。
さくらデパート	おしゃれな洋服が買えます。
ひかりスーパー	食べ物が安く買えます。
東町ゆうびんきょく	手紙が出せます。切手が買えます。
あさひ図書館	しずかに本が読めます。本が借りられます。
さくら山	ハイキングができます。スキーができます。
日本レストランみどり	おいしい日本料理が食べられます。
.	.
.	.

(2) 会話

A : Bさん、日本料理が食べたいんですが、ここはどうですか。

(カードをBに見せる。)

(カードの場所が質問と合っていたら)

B : ああ、日本レストランみどりへ行ったら食べられますね。

(カードの場所が質問と合っていなかったら)

B : えっ、あさひこうえんへ行っても食べられませんよ。

先生へ

- グループに分かれて練習をするまえに、1つのグループをクラスの前に出して、練習させて確認するとわかりやすい。